広報 ひたちおおた

特　集

高齢者が安心して暮らせるまちへ …… P2～4

おめでとうございます …… P5～6
地域おこし協力隊の活動報告 …… P7
エコミュージアム通信 …… P11
てくてくウォーク⑲ …… P14
平成23年度決算でみた市の財政診断 … P16～17
まちの話題 …… P21～22
ボランティアがんばってます！第9回 … P23

【いっしょにおどろうよ】

平成24年(2012) 12月号
No.613

【特集】

高齢者が安心して暮らせるまちへ

市では、高齢者が住み慣れた地域で、いつまでも安全に安心して生活できるよう、さまざまな事業や相談窓口を設けています。今回は、そのなかで、一人暮らしのお年寄り等のための主な事業についてお知らせします。

問 高齢福祉課高齢福祉係（☎内線144）

みんなでつくる見守りネットワーク

地域の人々やボランティアなど、市民一人ひとりが互いに見守り支え合うネットワークが重要です。

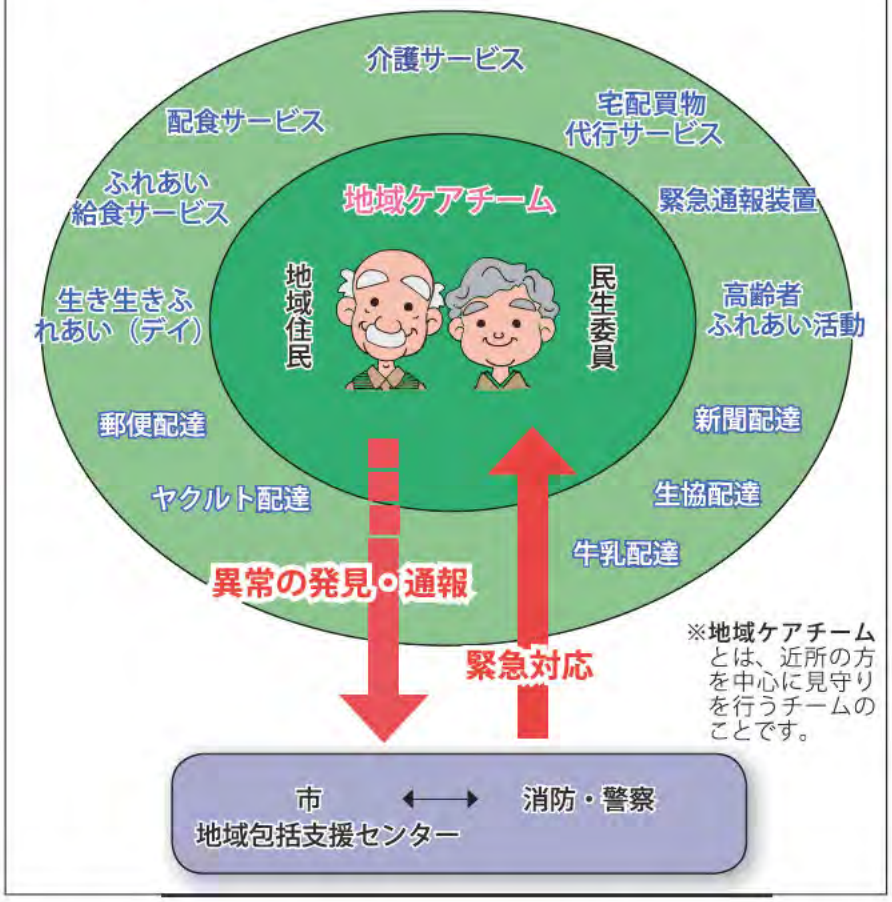
市では、ひとり暮らしのお年寄りなどが、地域で安心して暮らせるように、お年寄り一人ひとりを見守る地域ケアチームをはじめ、配食サービス、緊急通報装置設置等の福祉サービスによる見守り体制を整備しています。

今回新たに、郵便局・新聞販売店などの協力を得て、新聞がたまっているなど、異常を発見した場合には、市や消防署などへ通報される連絡体制を整備しました。併せて、本人の同意のもと、要援護者支援台帳を整備し、地域の皆さんで日頃の見守りなどを行う、地域ケアチームを増やしていきます。

「高齢者等の見守りに関する協定」を14の事業者と締結しました

日本郵便㈱常陸太田郵便局／同日立郵便局／㈲立川新聞店／㈱瀧商（瀧石新聞店）／ＡＳＡ常陸太田中央／メグミルク目崎牛乳店／明治牛乳太田小沢販売所／メグミルク太田販売所加藤牛乳店／雪印メグミルク真弓販売所／㈱デミック茨城支店／メグミルク矢祭販売所／水戸ヤクルト販売㈱太田センター／生活協同組合パルシステム茨城／いばらきコープ生活協同組合

高齢者見守りネットワーク体制



※**地域ケアチーム**とは、近所の方を中心に見守りを行うチームのことです。

配食サービス

□**内容**　配食業者が、夕食時に栄養のバランスのとれた食事を配達します。その際、利用者の健康状態などの安否を確認します。

□**対象者**　65歳以上の在宅のひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯で、調理することが困難な方

□**利用者負担金**　1回300円

＊ご希望の方は申請が必要です。詳しくはお問い合わせください。

利用者の声

大森 傳之進さん
ヒサさん　（徳田町）

週4回、配食サービスを利用しています。市の補助もあり1食当たり300円です。食事の内容も魚の煮付けやハンバーグなど、自分たちで作るより色々なおかずが入っていて、おいしいので残さず食べてしまいます。配達の方は、毎回様子や体のことを尋ねてくれ、調子が悪い時などケアマネージャーに連絡をとってくれるので安心できます。

宅配買物代行サービス

□**内容**　買物の代行や商品の宅配サービスを実施しながら、安否確認を行います。週3回までで、商店等から5～6㎞の範囲となります。

□**対象者**　65歳以上の在宅の高齢者

□**利用者負担金**　商品代金のみ

＊ご希望の方は申請が必要です。詳しくはお問い合わせください。

宅配してくれた商店の方と談笑。お年寄りの様子にも気を配る

利用者の声

橋本 義信さん
（小妻町）

利用する回数は多くないですが、今はバイクを乗らなくなったので助かります。宅配してくれる方とも話ができるし、体調がよくないときは特にありがたいですね。

緊急通報装置

□**内容**　急病、災害時等の緊急時に、市消防本部に通報する緊急通報装置、ペンダント型無線発信機および受信機の貸与を行います。

□**対象者**　65歳以上の在宅のひとり暮らし高齢者、高齢者のみの世帯

□**利用者負担金**　なし

＊ご希望の方は申請が必要です。詳しくはお問い合わせください。

緊急通報装置

ふれあい給食サービス

□**内容**　月2回程度、昼食時にボランティアが訪問し、食事を届けるとともに、会食により孤独感の解消を図ります。

□**対象者**　65歳以上の在宅のひとり暮らし高齢者

□**利用者負担金**　1回300円

＊ご希望の方は申請が必要です。詳しくはお問い合わせください。

社会福祉協議会世矢支部　小学生との交流会

日々の生活を生きがいとともに…

老人クラブ

現在、市内には97の老人クラブがあり、高齢者同士の交流と親睦が図られています。

高齢者の知識や経験を生かし、生きがいと健康づくりのためのニュースポーツや教養活動等、多様な社会活動を行い、豊かな老後の生活や明るい長寿社会づくりを目的としています。

市老人スポーツ大会でのゲートボール競技

市老人福祉大会で合唱を披露

会員を募集中です 第二の人生を、生きがいのある毎日へ。

問 市老人クラブ連合会事務局（高齢福祉課 高齢福祉係　内線144）

高齢者生産活動センター

大中町の「高齢者生産活動センター」では、高齢者の経験や技術、知識を生かした生産活動に取り組んでいます。

しめ縄やそば打ち道具、漬物や味噌など、さまざまな品物を作ることで、生きがいづくりや、高齢者の社会的参加を促進しています。

手作りの漬物は、なつかしい味と評判

お正月用のしめ縄作りに大忙し。材料のワラも会員自ら栽培している。市内JAの直売所で販売中

会員を募集中です 皆さんの「技」を生かして働いてみませんか。

問 高齢者生産活動センター（☎82-2342）

災害時に備えて

特別養護老人ホームなどを、災害時福祉避難所として活用します

市では、11月1日、市内の特別養護老人ホームなどと、**「災害時における福祉避難所の設置運営に関する協定」**を締結しました。

これは、災害時に、在宅の要援護者で一般の避難所生活に支障のある方について、市内の特別養護老人ホーム5カ所、介護老人保健施設2カ所を福祉避難所として受け入れるものです。

また、市社会福祉協議会とは**「災害時における介助員派遣に関する協定」**を結びました。

これは、福祉避難所に避難した要援護者を支援する介助員として、介護福祉士、ホームヘルパー等を派遣するものです。

＜福祉避難所＞

特別養護老人ホーム西山苑（木崎二町）／特別養護老人ホーム世矢の里（亀作町）／特別養護老人ホーム松栄荘（箕町）／特別養護老人ホーム誠信園（和久町）／特別養護老人ホームえみの里（徳田町）／介護老人保健施設くじらケ丘（田渡町）／介護老人保健施設はすみ敬愛（山下町）

災害時に援護が必要な方はぜひ登録を

地震や洪水などの災害時に、ひとりで安全に避難することが困難な方（災害時要援護者）を支援するため、登録を受け付けています。

◇対象　次のいずれかに該当する方で、避難の際に支援を必要とする方

①65歳以上の高齢者のみの世帯

②要介護度3以上で、在宅で生活している方

③身体障害の程度が1級または2級の方

④療育手帳Ⓐまたは精神障害者保健福祉手帳1級の方

⑤①～④に準じる状態で、災害時の支援を必要とする方

◇届出期間　随時

◇登録方法　登録を希望する方は、申請書の提出をお願いします（郵送可）。

申問 社会福祉課社会福祉係（内線141・142）／高齢福祉課高齢福祉係（内線144・131）／金砂郷市民生活課（☎76-2116）／水府市民生活課（☎85-1118）／里美市民生活課（☎82-2761）

市内の巨樹を探訪

"THE巨樹めぐり" 開催

11月23日、全国巨木フォーラム1周年記念事業「THE！巨樹めぐり」が行われました。「真弓神社の爺杉・健脚コース」には20人が参加し、徒歩で真弓神社の爺杉を目指し、到着後は実際に木に触りながら感動を共有、お昼を取りながら参加者同士で交流を深めました。「猿喰のケヤキ等・バス周遊コース」には16人が参加し、西金砂のイチョウや菊池家のモミジなど、随所に紅葉を感じつつ、竜神峡紅葉まつりや里美かかし祭のにぎやかな雰囲気を味わうなど、市内を1日かけて周遊しました。

爺杉の前で説明を受ける

西小沢・世矢地区防災訓練

11月4日、西小沢地区9組織、11月11日、世矢地区5組織の自主防災会が合同防災訓練を実施しました。

それぞれ西小沢小、世矢小で行われた訓練には、西小沢地区約120人、世矢地区約200人が参加。茨城県沖を震源とするマグニチュード7・2の地震が発生したとの想定で、さまざまな訓練が実施されました。

救護訓練（世矢地区）

消火訓練（西小沢地区）

都々逸全国大会

11月17日、生涯学習センターで、第26回都々逸全国大会が開かれました。唄の部門には70人が参加、作詞の部門には1212人からの応募があり、各賞を競いました。

優勝した高橋婦美子さん㊧

防災車が寄贈

11月13日、市消防本部で、トヨタカローラ新茨城株式会社からの消防防災車贈呈式が行われました。

「地域防災のため活用してほしい」と寄贈された防災車

✽おめでとうございます

世矢クラブ全国大会でブロック優勝

第9回ジョイフルスローピッチソフトボール全国大会が、10月27日～28日の2日間、静岡県伊豆市で開催され、世矢クラブ（金澤正雄代表〈亀作町〉）が県代表として出場。3試合を戦い存分に力を発揮、Dブロックで優勝の栄誉に輝きました。来年の第10回大会は、本市で10月に開催される予定です。

ディーンズは全国大会4位

11月9日～12日、東京都江戸川区で開催された、第61回全国青年大会軟式野球の部で、ディーンズ（仲田英人主将〈大平町〉）が第4位に入賞しました。ディーンズは、予選会を勝ち抜き、全国大会には6年ぶり2回目の出場です。

叙勲

おめでとうございます

永年にわたり、国家または公共に対し功労のある方、社会の各分野における優れた行いのある方などに贈られる「秋の叙勲」、警察官や自衛官など、危険性の高い職務で社会に貢献した方に贈られる「危険業務従事者叙勲」、また88歳以上の方を対象とした「高齢者叙勲」がこのほど発表され、本市からは次の方々が受章されました。

瑞宝双光章 高齢者叙勲

植村　勇 氏（木崎一町）

元学校医。永年にわたり保健衛生の推進に尽力された。

瑞宝双光章 危険業務従事者叙勲

吉澤忠治 氏（中染町）

元茨城県警部。永年にわたり公共の秩序の維持に尽力された。

瑞宝双光章 秋の叙勲

本橋次雄 氏（大中町）

元日立市助役。永年にわたり地方自治の推進に尽力された。

瑞宝双光章 秋の叙勲

石川　誠 氏（三才町）

元日立市立坂本小校長。永年にわたり教育の発展に尽力された。

瑞宝単光章 危険業務従事者叙勲

鈴木好次 氏（徳田町）

元３等陸尉。国の安全を保ち、公共の秩序の維持に尽力された。

瑞宝単光章 秋の叙勲

宮本　章 氏（沢目町）

元日本郵政公社職員。永年にわたり郵政事業に尽力された。

瑞宝単光章 秋の叙勲

根本一男 氏（下宮河内町）

元常陸太田市消防団副団長。永年にわたり消防団活動に従事された。

瑞宝単光章 秋の叙勲

青木　淳 氏（馬場町）

元常陸太田市消防団副団長。永年にわたり消防団活動に従事された。

関東高校登山大会に出場

太田二高　山岳部

11月9日～11日、千葉県南房総市で行われた第56回関東高校登山大会に出場

（左から）畠山弘恵監督、圷なつみさん、柴田千夏さん、山下莉奈さん、和田里紗さん

☆リーダーの和田さん☆

「私は関東大会に連続で３回出場しました。今回は千葉県の山で標高は低かったですが、富士山や九十九里の海が見え、快適な大会でした」

明るい選挙啓発ポスターコンクール

平成24年度明るい選挙啓発ポスターコンクールの茨城県審査（**第2次審査**）が行われ、本市からは**金塚嶺々（ねね）さん**（誉田小6年）、木村朱里さん（太田小6年）の作品が入選しました。

金塚嶺々 さん

「1人（1票）の力は弱いけど、みんなの投票で自然が豊かになったり、病気に苦しむ人を救う病院が充実したり、介護が必要な人たちを助けたりと、いろいろな人たちを助けられたらいいなと思いながら描きました」

さらに金塚さんの作品は、全国944点の作品を審査する中央審査（**第3次審査**）において、60人が選ばれる「**㈶明るい選挙推進協会会長・都道府県選挙管理委員会連合会会長賞**」に選ばれました。

なお、常陸太田市明るい選挙啓発ポスターコンクール（**第1次審査**）の審査結果は次のとおりです。（敬称略）

▽**市長賞**　金塚嶺々（誉田小6年）▽**市議会議長賞**　光田真尋（峰山中1年）▽**市教育長賞**　北野七海（賀美小1年）／松本祐莉子（峰山中2年）／阿部真生子（峰山中3年）

地域おこし協力隊がゆく!!
つながりぼん

私たちが地域おこし協力隊です！
【　】は主な活動場所

笹川 貴史子【里美地区】　白石 百合乃【金砂郷地区】　長島 由佳【里美地区】　石川 明紗【里美地区】　野嵜 真衣【金砂郷地区】

怒涛の 11 月！！　地域内外で活発に活動♪

イベントが盛りだくさんだった 11 月、市内各所は大にぎわいでした。私たちも役割分担をして活発に活動！11 月 3、4 日は、母校である清泉女子大学の学園祭に参加し、常陸太田市の産品 PR はもちろん、在学生に向けて地域おこし協力隊の PR もしました。卒業生の活動ということもあってか多くの方が興味を持ってくださり、「ここの地域は水がとてもきれいだからおいしくなるんですよ！」など産品を通じて地域の魅力をたくさん伝えることができました(^^) お客さんの中には金砂郷地区出身の方がいて、今は市外に住んでいるそうですが、協力隊の活動を知ってもらうことができ、激励のお言葉もいただきました。遠くからでも私たちの活動を応援してくださる方がいるということはとても励みになります♪清泉女子大学とのつながりを生かした活動は私たちならではのものなので、これからも連携を強化していきたいと思っています。

魅力いっぱいの産品をたくさん持っていきました

市のパンフレットや協力隊の活動写真でもＰＲ

立派なかかしに見守られながらプリンを販売 (^^)

里美珈琲は里美のおいしい水を生かした優しい味です

里美地区では秋の味覚祭に参加。「里美珈琲」と「里川カボチャのプリン」を販売しました。自分たちの育てたカボチャを PR することで少しでも貢献できたのではないかと思います。道の駅さとみまで渋滞するほど多くの方が来場され、プリンも完売でした♪

金砂郷地区では「常陸秋そばの郷まもりたい」の活動に参加し、赤土のそば畑にクリムソンクローバーの種をまきました。ボランティアの大学生も参加し、活気にあふれた作業風景！！赤土の皆さんがいつも元気な秘訣は地域が主体となった活動が積極的に行われているからではないでしょうか？来年の春には畑一面に美しい赤色のクローバーの花が広がることでしょう (*^_^*) 寒さも厳しくなってきていますが、縮こまらず元気に活動を続けたいと思います☆

クリムソンクローバーの種㊧をまきました。開花の時期が今から待ち遠しい (^^)

ルリエ（常陸太田市地域おこし協力隊）とは？

「地域おこし協力隊」は、平成21年度から始まった総務省の事業で、都市圏の住民が1～3年間、過疎地域に住民票を移し地域で生活しながら、農林漁業の応援、水源保全・管理など様々な地域協力活動をしていきます。

ルリエのBlog＊http://ameblo.jp/ykm-satomi3103/　※「ルリエ」は、フランス語で「つなぐ・むすぶ」という意味

農業のチカラ

小澤 清次 さん（大平町）

食を支える農業にスポットをあて、農業者の皆さんの意気込みを伝えていきます。

野菜への思いを熱く語る小澤さん

今回は、野菜の生産者、小澤清次さんに話を聞きました。

自分と土地に向いている野菜を

野菜作りを始めたのは退職してからで、まだ2年目の初心者ですが、普段は多品種の露地野菜を作っています。

勤めている間は田んぼの手伝いくらいでしたが、退職し友人に県立農業大学校の水稲コースに誘われたのをきっかけに、本格的に農業の世界へ。昨年は野菜コースを受け、今年は市の園芸作物栽培講習会と定年帰農者等農業講座を受けながら野菜作りをしています。

今はいろいろな野菜を試していますが、徐々に土地に合った野菜に絞っていければと思っています。また、現在は家の前だけの作付けなので、面積も少し増やしていければと楽しみながらやっています。

ロマネスコはまだ珍しいので売れ行きはよい

計画的な生産を

今後は、おいしい野菜を作るために粘土質の畑の土壌改良を考えています。

さらに、市の補助を受け、パイプハウスを増築する予定で、出荷量の少ない旬をずらした野菜の計画生産にも挑戦していきます。

また、こめ工房の直売所に出荷していますが、食堂などの商売をしている方に買っていただくとプロの目にかなったとうれしくなりますね。

これからも勉強を続けて、お客様が喜ぶ野菜を作り続けていきたいと思います。

自慢のブロッコリー畑で

―連載― 伝えたい技がある その六

凍みこんにゃく

Shimi konnyaku

冬の寒さと水・太陽がつくる健康食品

「50年前のものでもおいしく食べられるんですよ」

そう笑って話してくれたのは、中嶋利さん（天下野町）。市内でただ一軒、凍みこんにゃくを製造・販売しています。

古く江戸時代に探検家・木村謙次（天下野出身）が、丹波国から製造技術を導入した凍みこんにゃく。以来、12月から2月の厳冬期の田畑にわらを敷きつめ、その上に薄く切ったこんにゃくを並べ、水をかけながら冷凍・乾燥を20日間あまり繰り返すという伝統の製法で作られています。

調理法も多様で、天ぷらやフライにしておつまみにしたり、お吸い物、お煮しめ、まぜご飯の具などにしてもおいしく召し上がれます。

「元気な限り作り続けたい」と話す中嶋利さん・よしゑさんご夫妻と作業風景

野菜の凍みこんにゃく巻き

凍みこんにゃくのフライ

火の用心

防火クラブ・消防団紹介

がんばってます！ 太田進徳幼稚園幼年消防クラブ

市内の幼稚園や保育園には、幼児期から火災予防についての学習を取り入れている幼年消防クラブが16クラブあります。

太田進徳幼稚園は、昭和59年に市内で最も早く幼年消防クラブを結成し、総勢1485人のクラブ員を育成してきました。

主な活動としては、結団式、花火教室、秋季全国火災予防運動に伴う鼓笛演奏会、出初め式への参加など年間を通して行っています。

太田進徳幼稚園幼年消防クラブ員は、「**よいこのなか ま　火遊びはしません**」と大きな声で長きにわたり誓い合いながら、さまざまな火災予防に関する活動を通して、父母や周囲の大人たちにも感動を与え、地域における防火防災思想の普及の一翼を担って活動を続けています。

問消防本部消防課予防係（☎73-0119）

結団式で火遊びをしないことを約束

花火教室で花火の危険性、正しい遊び方を学ぶ

出初め式での鼓笛演奏

鼓笛演奏や風船メッセージを通しての火災予防広報

スポーツ推進委員だより

巡回スポーツ教室を開催

巡回スポーツ教室では、ニュースポーツの「グラウンドゴルフ」を中心に体験できます。

今年は、全3カ所で開催。金砂郷小での教室は、強い日差しの下で初心者3人を含む35人が参加。ベテランの方も多数参加した中で、比較的若い年代の方々もいて、プレー中、他のグループから声援が出るほど和気あいあいとゲームが進みました。障害物たっぷりの条件であったわりには、ホールインワンが3人と上々の結果でした。

賀美小での教室は、晴天の下、初心者2人を含む21人が参加。8ホールを2回実施しましたが、コースを熟知した2回目にスコアを伸ばす方がいました。また、団体での参加者が多く、日頃からグラウンドゴルフを楽しんでいるようで、高スコアで終了する方が多く見受けられました。

毎年各地区を回って開催しています。誰でも気軽に楽しめる競技ですので、ぜひ参加してみてはいかがですか。

問スポーツ振興課（☎73-0090）

開会式（賀美小）

いよいよ大詰め。ホールを狙って（賀美小）

さあスタート（金砂郷小）

グラウンドゴルフのルールを説明（金砂郷小）

健康でいこう

問健康づくり推進課 ☎73-1212

脳卒中にならないために

脳卒中とは？

脳の血管が詰まったり、破れたりして、その先の細胞に血液が届かなくなり、細胞が死んでしまう病気です。脳の血管が詰まる「**脳梗塞**」、破れる「**脳出血**」や「**くも膜下出血**」等に分かれています。

脳卒中の原因は？

高血圧症、糖尿病、脂質異常症といった生活習慣病、さらに不整脈、喫煙などがあげられます。

脳卒中を予防するには？

日常生活を見直し、できることから少しずつ始めていきましょう。

塩分は控えましょう ～とりすぎは血圧を上げてしまいます～
漬物やつくだ煮・干物は控えて、汁物は１日１回。食卓の塩やしょう油などはできるだけ使わない。
水分をしっかりとりましょう ～血液が固まりやすくなります～
体内の水分量低下に注意。寝る時は、枕元に水をおいていつでも飲めるようにしましょう。
ストレスをためない ～血圧や血糖値を上げてしまいます～
入浴や音楽鑑賞など、自分なりのリラックス法を見つけることが大切です。
アルコールは控えましょう
お酒は適度な量であれば血圧を下げ、動脈硬化を防ぐ効果があると言われていますが、とり過ぎは血圧や中性脂肪を上昇させるので気をつけましょう。
バランスの良い食事をとりましょう
毎食、４つのお皿を揃えて食べるよう心がけましょう。４つのお皿とは、・主食（炭水化物中心のお皿）・主菜（タンパク質中心のお皿）・副菜２（ビタミン、ミネラル中心のお皿）です。
禁煙をしましょう ～血液をどろどろにし、血流を悪くする作用があります～
吸いたくなったら、深呼吸・お茶や紅茶を飲む・歯を磨く・こまめに体を動かすなど試してみましょう。

上手にリサイクル

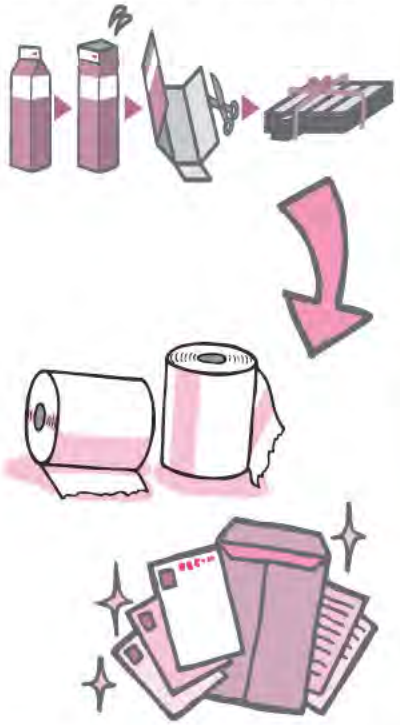
８月から始まった「資源物・燃えないごみ」の無料回収。集められた資源物は何に生まれ変わるのでしょうか？

問環境政策課環境企画係（内線 109・110）

区　分	活　用　例
白色トレイ・発泡スチロール	プラスチック容器、額縁、家電製品のカバーなど
新聞・ちらし	新聞は再び新聞の原料、ちらしは雑誌の原料など
雑誌類	紙箱やダンボールに使用
その他の紙類	雑誌類と同様に活用
ダンボール	もう一度、ダンボールの原料に
紙パック	トイレットペーパー・はがきなどに使用。例えば、牛乳パック（１㍑）６枚でトイレットペーパー１個作れます
古着・毛布	そのまま海外へ輸出され、再利用
その他の金属類	アルミ、鉄、銅、真鍮（しんちゅう）などに選別し、引取業者へ売却

資源物の売払量が増加しました

	H23.9（A）	H24.9（B）	比較（B）－（A）
新聞・ちらし	3.7 トン	18.1 トン	14.4 トン
雑誌類	4.4 トン	18.9 トン	14.5 トン
ダンボール	7.9 トン	11.1 トン	3.2 トン
古着・毛布	0 トン	4.2 トン	4.2 トン



～紙パックの例～

エコミュージアム通信

問 文化課エコミュージアム推進室（内線 541）

上河合町でお宝さがし

11月3日、上河合町で、幸久公民館等の協力のもと、「お宝さがし」が行われました。地元住民約160人が参加し、3班に分かれて町内を散策しました。上河合周辺には、防人（さきもり）の碑や枕石寺（ちんせきじ）、河合城跡など、多くの史跡や文化が残されていて、参加者は地域の魅力を再発見できました。散策後は、班ごとにお宝マップを作成。宇野英夫町会長は、「このお宝さがしをきっかけに、地域資源を活用した事業を進めていきたい」と力強く話していました。

故郷を振り返る防人。"かえりみの像"

親鸞聖人の像がお出迎え

幸久地区には史跡が多いなあ

東染三世代交流&秋の収穫祭

11月11日、東染町会が主体となり、地元住民や茨城キリスト教大学生など約90人が集まり、東染林業センターで、三世代交流の集い＆秋の収穫祭が開催されました。地域の交流や世代間の絆を深めることを目的に行われ、ベンチの制作、輪投げや餅つきなどで楽しみました。また、今年6月から地元の伝統的な食文化を掘り起こし、昔地元で食された「のっぺ汁」を共同作業で再現し試食、親睦を深めました。栗原茂町会長は、「この事業をもとに、調理法などをまとめた冊子を作成して町内に配布し、地元の食文化を各家庭で再現していただければ」と話してくれました。

人生の先輩から手ほどき

上手につけるかな

おねえさんとあやとり楽しいね

常陸国筑波山名物「がまの油売り口上」を実演

ちょっと寄り道

今月は上深荻・大菅町

高宮神社

大菅町にある高宮神社は、延暦21（802）年、坂上田村麻呂が蝦夷征伐の道中、この地で武運を祈り創建したといわれています。また、境内の駒形神社は、古来より馬霊・馬産の神として崇拝され、旧3月17日の祭礼には、近郷から紅白に飾りたてた馬をひいた参詣人が集まり、にぎわいました。そのため、高宮神社は通称「駒形さま」と呼ばれています。境内の南端には二十三夜講の石碑があり、ツバキの古木に抱かれています。石碑には天保2（1831）年とあることから、ツバキは少なくとも樹齢約200年。二十三夜講は、講中が集まって二十三夜の月を待つ行事で、この夜に月待ちすれば願い事がかなうといわれました。

来月は、大菅町（おおすげ）の「け」つながりで、天下野（けがの）町さんにお願いします。

紹介者
上深荻・大菅町
田所 美朗 さん

鯨ケ丘に人・ひと・人
～常陸太田秋まつり～

11月17・18日に開催し、昨年の2倍約1万8千人の人出でにぎわった常陸太田秋まつり。初日はあいにくの雨模様でしたが、2日目は晴天に回復。数多くの店が出店し、幼稚園児のコンサートやダンス・おにぎりコンテストなどさまざまなイベントが行われました。

すべての会場で昨年を上回る人出

11月10・11日に開催、昨年より1万人以上多い約5万5千人が訪れた常陸秋そばフェスティバル。会場となった宮の郷工業団地には、各地のそば店が集合。県内外から訪れた多くのそば好きが新そばを堪能しました。また今年は常陸太田駅前で前夜祭も行われ、まつりのムードを盛り上げました。

絶品の新そばに舌鼓
～常陸秋そばフェスティバル～

芸術の域、里美の秋
～里美かかし祭・秋の味覚祭～

10月27日～11月24日に行われた里美かかし祭。今年も里美ふれあい館イベント広場にはユニークなかかしが大集合しました。また、秋の味覚祭（11月3・4日）では千人鍋や特産物即売会などを開催。来場者数はあわせて昨年の2倍のおよそ8万人に及びました。

秋のおまつりにぎやかに

人々を魅了、錦秋の竜神峡
～竜神峡紅葉まつり～

11月1～30日に開催し、昨年より1万人多い7万人を超える渡橋者でにぎわった竜神峡紅葉まつり。会場となった竜神大吊橋およびその周辺には、連日県内外から大勢の観光客が訪れました。新そばフェアや物産市、各種ステージイベントなどで大いに盛り上がりました。

ひたちおおた てくてくウォーク⑲

市内の自然・史跡や特産品なども交えて見所をお伝えしながら、地元の身近なウォーキングコースを紹介していきます。地元の意外と知られていない名所や素晴らしい自然、見所を巡りながら、皆さんもぜひ歩いてみませんか。

小島町ハイキングコース

距離：約 5.5km　所要時間：2 時間

今回は、「小島楓」にちなんで名付けられた工芸交流センター楓を出発点として小島町を歩きました。最初に神社やお堂を巡り、久慈川にかかる木島大橋へ。11 月ごろには、橋の上から鮭の遡上などを見ることができます。昔からお米がおいしい土地柄で、特においしいといわれる鞠子（まりこ）地区を抜けて星神社古墳へ向かいます。島町の梵天山古墳と同じ前方後円墳で、頂上に星宮神社が鎮座しています。平坦で歩きやすく、てくてくウォークにうってつけの小島町。田園風景を楽しみながら、歴史を感じてみませんか。

① 工芸交流センター楓

ここが今回のスタート地点。隣の公民館に車を置けます

② 熊野神社

藤原秀郷の流れをくむと記した記念碑がある

③ 薬師堂

江戸時代建立と記した記念碑がある

④ 稲荷神社

庚申講と馬力神、地蔵尊が並び立つ

⑤ 木島大橋

小島町と那珂市木崎地区を結ぶことから命名。平成 20 年に竣工

⑥ 鹿島神社

かつてこの地には鹿島神社と星ノ宮が鎮座していたが、明治 15 年に星ノ宮を別の地に移した

⑦ 星神社古墳

全長 100 mほどのきれいな前方後円墳。古墳時代前期（4 世紀ごろ）に造られたと考えられている

皆さんのアイデアをまちづくりに!!

▶▶▶ 市民提案型まちづくり事業 ◀◀◀

自分たちの力で地域の課題を解決し、地域の活力を生み出そうとするグループや団体等を応援する事業で、5年目を迎えた今年度は14団体を採択しました。各団体の活動状況を随時紹介していきます。問市民協働推進課（内線217）

ママの目線で交流

【子育て調査隊　ひこうき雲】

代表　秋山智代さん（玉造町）

子育て調査隊ひこうき雲では、子育て中の母親が親子で安心して出かけられる施設を調査し、子育て中の母親目線でまとめた情報の発信を行っています。11月7日には、9月にオープンした旧金砂小を利用した「かなさ笑楽校」への遠足を実施し、19組の親子が青大豆豆腐づくり体験やおいしいそばを食べ、楽しい1日を過ごしました。

その他にも、さまざまなイベントや講習会を実施し、子育て中の母親同士がお互いの悩みを話し合い、情報交換できる場を提供しています。

思いやりの心を将来に

【二考女顕彰会】

代表　櫻井正美さん（東連地町）

江戸時代の二人の孝行娘の実話をたくさんの人に広めようと、子ども向けのパンフレットと物語をわかりやすく紹介した紙芝居を作成しました。

今年8月に孝行娘の出身地である大分県臼杵市を訪問し、二孝女ゆかりの地を巡るとともに自作した紙芝居を披露し交流を深めてきました。

今後も紙芝居やパンフレットを活用し、市内小学校や地域での出前講座を通して二考女物語を広めていきます。

"そば"に夢を託して

【常陸秋そばの郷まもりたい】

代表　海老根信夫さん（赤土町）

常陸秋そばの原産地である赤土のそばと、里山の原風景を守ろうと、年々増加している耕作放棄地をそば畑に再生する活動を行っています。

8月にまいたそばを10月下旬に刈り取り、今年も良いそばの種を収穫しました。11月4日には約70人が参加し、その収穫後のそば畑1㌶に、クリムソンクローバーの種まきを実施。この花は、春には真っ赤な花を咲かせ地域の新しい名所に。また会では、一緒に作業してくれる、「農作業応援志隊」を募集しています。

花で安らぎを

【チェルシー・amis（アミ）】

代表　井坂美代子さん（春友町）

JR常陸太田駅前のロータリーに鉢植えを設置し、駅を利用する方の目を楽しませるとともに、駅を利用して訪れる観光客を花で迎える活動を行っています。11月10日には、学生ボランティア15人が参加し、駅前ロータリーに寄せ植え3鉢と、6個のプランターヘビオラの植栽を行いました。また、常陸太田秋まつりではクリスマスリースづくりを出店。このクリスマスリースは常陸太田駅のコミュニティスペースに年内展示していますので、ぜひ足を運んでみてください。

市の財政は健全です

―平成23年度決算でみた市の財政診断―

将来に向けてさらに健全化を推進

問財政課（内線318・319）

本市は全ての会計に赤字や資金不足は生じていません

1 実質赤字比率

本市は実質収支が黒字のため、実質赤字比率は生じていません。

この比率が本市において12・67％以上となった場合には、いわゆるイエローカードとなる財政健全化計画を、20％以上となった場合にはレッドカードとなる財政再生計画を策定することとなります。

2 連結実質赤字比率

本市は、全ての会計において赤字額または資金不足額がないため、連結実質赤字比率は生じていません。

この比率が本市において17・67％以上となった場合は財政健全化計画を、30％以上の場合には財政再生計画を策定することとなります。

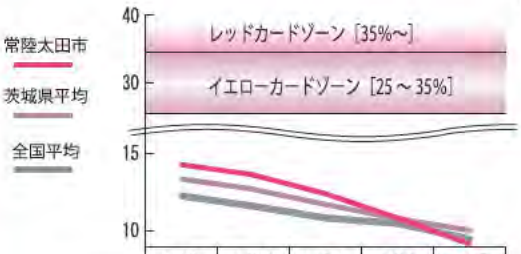
借金の負担割合は減少しています

3 実質公債費比率

数値が大きいほど借金返済の資金繰りが厳しいことを表します。平成23年度は、借金の借入抑制とともに普通交付税が増額となったことなどから、前年度よりさらに1・3ポイント減少し県や全国平均を下回っています。

この比率が25％以上の場合には財政健全化計画を、35％以上の場合には財政再生計画を策定することとなります。

■借金の負担割合を示す実質公債費率



	H19	H20	H21	H22	H23
常陸太田市	14.2	13.7	12.6	10.8	9.5
茨城県平均	13.2	12.8	12.0	11.1	10.4
全国平均	12.3	11.8	11.2	10.5	9.9

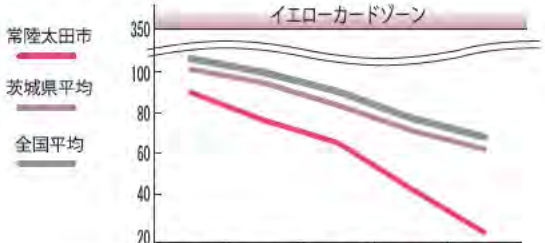
借金返済による今後の財政負担も減少しています

4 将来負担比率

数値が大きいほど、借入金返済が今後の財政を圧迫する可能性が高いことを表します。平成23年度は、借金残高が減少したことや、職員数の減少により退職手当負担見込額が減少したこと、基金残高が増額となったことなどから、前年度よりさらに16・9ポイント減少し、県や全国平均を大きく下回っています。

この比率が350％以上となった場合には財政健全化計画を策定することとなります。

■借金返済にどれくらいの負担があるかを示す将来負担比率



	H19	H20	H21	H22	H23
常陸太田市	91.7	78.6	64.4	40.5	23.6
茨城県平均	105.2	95.7	86.6	73.7	63.6
全国平均	110.4	100.9	92.8	79.7	69.2

公営企業等にも資金不足はありません

5 資金不足比率

本市は全ての会計で資金不足がないため、資金不足比率は生じていません。この比率が20％以上の場合には経営安定化計画の策定が必要です。

市町村の財政の健全化判断比率は、次の4つの指標で判断します。

- **1 実質赤字比率**（一般会計の赤字の程度を示す指標）
- **2 連結実質赤字比率**（全ての会計の赤字額の程度を示す指標）
- **3 実質公債費比率**（借入金返済額による財政負担の程度を示す指標）
- **4 将来負担比率**（借入金返済額による将来の財政負担の程度を示す指標）

水道事業や下水道事業などの経営状況は、次の指標で判断します。

- **5 資金不足比率**（公営企業等の料金収入の規模に対する資金不足の程度を示す指標）

◇借金残高は約７億円の減少

市の借金ともいえる市債。平成23年度は、引き続き返済とのバランスを考慮し新たな借り入れを抑制し、残高は約７億円の減少となりました。

■市債の状況

事業名	H22年度末残高	H23年度末残高
一般会計	245億4,984万円	243億515万円
特別会計	124億3,350万円	120億2,444万円
下水道事業	79億1,891万円	76億8,403万円
農業集落排水事業	28億6,334万円	27億6,535万円
戸別合併処理浄化槽設置整備事業	4億1,625万円	4億3,999万円
簡易水道事業	12億3,500万円	11億3,507万円
公営企業会計	65億2,153万円	64億3,119万円
水道事業	63億86万円	62億5,344万円
工業用水道事業	2億2,067万円	1億7,775万円
合　計	435億487万円	427億6,078万円

■市債残高の推移

◇積み立ては約20億円の増額

市の貯金は基金として運用・管理されています。財源補てんのための財政調整基金や、借金返済額の増加に備える減債基金をはじめ、特定の目的のための各種基金があります。

平成23年度は、地方交付税の増額などにより、約20億円の増額となっています。

■基金の状況

基金名	H22年度末残高	H23年度末残高
財政調整基金	37億2,581万円	40億8,974万円
減債基金	26億283万円	44億6,221万円
その他の基金	67億7,354万円	65億3,045万円
合　計	131億218万円	150億8,240万円

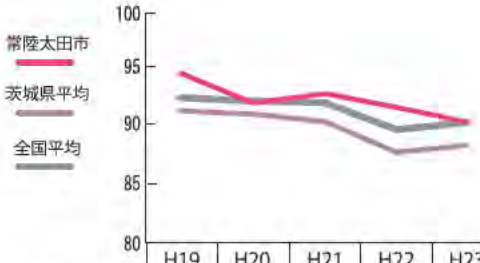
■基金残高の推移

「ゆとり度」は若干回復

財政の弾力性（ゆとり）を示す指標が「経常収支比率」です。税収など比較的安定している収入に対する、人件費や借金返済など毎年必要となる経費の割合を表しています。

この数値が低いほど、独自の施策に充てる財源が大きく、財政構造が弾力的であるといえます。平成23年度は、前年度よりさらに1・3ポイント減少し、全国平均を下回りましたが、県平均を上回っています。

■財政のゆとりを示す経常収支比率



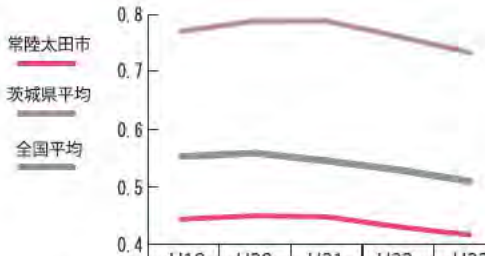
	H19	H20	H21	H22	H23
常陸太田市	94.8	91.7	92.8	91.5	90.2
茨城県平均	90.9	90.8	90.0	87.0	88.0
全国平均	92.0	91.8	91.8	89.2	90.3

財政力は全国・県平均を下回る

自治体の財政力を表す指標としては、「財政力指数」があります。

この指数が「1」に近いほど自力があり、指数が低いほど国への依存度が高いといえます。平成23年度は前年度より0・01ポイント下回り0・42ポイントで、依然として県や全国平均を大きく下回っています。企業誘致を進めて収入を確保するなど、引き続き財政力の向上に努めます。

■財政力を示す財政力指数



	H19	H20	H21	H22	H23
常陸太田市	0.44	0.45	0.45	0.43	0.42
茨城県平均	0.77	0.79	0.79	0.75	0.72
全国平均	0.55	0.56	0.55	0.53	0.51

行政改革の実施状況

市では行政改革大綱に基づき、簡素で合理的な行政運営と市民サービスの向上のために、毎年度実施計画を定め、行政改革に取り組んでいます。

平成23年度は経費の節減・合理化等を推進し、5億673万円の節減

問総務課総務行政係（内線325）

◆市民との協働

○市民提案型まちづくり事業（はじめの一歩事業・市民提案事業）を推進し、22団体に対し地域活動へ支援を行いました。

○市民活動への各種支援策として、引き続き軽トラックや簡易テント等を貸し出します。また、市民が安心して地域の活動に参加できるよう、引き続き市民活動保険を実施します。

○多岐にわたる地域課題の解決克服に向けて、地域コミュニティに係る様々な団体や組織が情報の共有化や連携が図れるよう新たなシステムとして、地域プラットホーム化の構築を図っていきます。

○交流人口の拡大および地域経済活動の推進を図るため、総務省の「地域おこし協力隊」事業を活用し、市民との協働により地域の活性化を図ります。

◆行政サービスの向上

○市民の交通手段を確保するため、市民バスの再編、整備のほか、ＪＲとの連携を推進します。また、高校生の通学支援のため路線バス通学定期券の一部助成、ＪＲ水郡線7時便接続のための路線バスを運行します。

○県からの事務権限の移譲により、市民の利便性の向上や事務処理の迅速化を図ります。

今年度移譲された事務：商店街整備計画の認定事務、電気用品安全法・ガス事業法に基づく販売事業者に対する立入検査事務、騒音規制法・悪臭防止法・振動規制法に基づく地域の指定、規制基準の設定事務、土地を譲渡しようとする場合の届出および土地の買取希望申し出に関する事務、液化石油ガス設備工事の届出の受理・事務所への立入検査に関する事務、騒音に係る環境基準の地域類型の指定に関する事務

◆効果的・効率的な行政経営の推進

○さまざまな分野との連携によるまちづくりを進めるため、連携協定締結大学（茨城キリスト教大学：10事業、常磐大学：2事業）との連携事業を推進しました。

○電気使用量・燃料等の削減を図り、二酸化炭素（CO2）の排出抑制と省エネの推進に努めていきます。また、特定規模電気事業者（PPS）を導入し、電気料の削減を実施します（全小中学校:22施設、市庁舎等:18施設）。

○指定管理者制度を導入した施設において、適正な管理運営を確保することで、2943万2千円の経費削減を図りました。また、新たな施設への制度導入を推進します。

◆健全な財政運営の推進

○市債の借入抑制等により市債残高（一般会計）を243億515万3千円（2億4468万6千円減少）に縮減しました。

○「市定員管理適正化計画」に基づく職員数の削減を図り、1億6928万5千円の人件費を縮減しました。

○光熱水費の削減や事務機器の再リースなど業務の見直しを行い、3118万1千円を縮減しました。

○未利用市有地15件、1,756.69㎡、4805万9千円の売払い等を行いました。

○広報ひたちおおたへの広告掲載により、128万8千円の収入がありました。

◆簡素で効率的な執行体制の確保

○平成24年4月現在において、前年から13人を減員しました。今後も引き続き、「市定員管理適正化計画」に基づき職員数の抑制を行います。

あいさつには〝あい〟がある
「あいさつ・声かけ運動」

「あいさつ・声かけ運動」は、家庭、学校、地域で、大人と子ども・大人同士・子ども同士のコミュニケーションを広げる運動です。

まず、大人から子どもにあいさつ・声かけを始めてみましょう！

はじめはできることから
子どもたちに会ったら、あいさつをしてみましょう！

少し慣れたら
子どもたちと話をしてみましょう！

そして、みんなで
地域の親として子どもたちの成長を温かく見守りましょう！

青少年健全育成常陸太田市民の会
問生涯学習課（☎72－8888）

温かいご支援、ありがとうございます。

◇東日本大震災義援金
（10月23日～11月20日受入分）
㈱鈴木商店・㈱割烹寿々木 様 30万円／常陸太田市老人クラブ連合会 様 125万2550円
義援金累計 9987万8702円

◇善意ありがとう
和田清子 様（大平町）＝社会福祉事業のため 5千円／水戸ヤクルト販売株式会社 様 乳幼児運動遊具（ビルドブロックマット）

水戸ヤクルト販売㈱様から寄贈を受ける大久保市長

◇ふるさと常陸太田（10月26日～11月22日受入分）
ふるさと納税により、寄附をいただいた方です。
川又一雄 様（仙台市青葉区） 10万円〔指定なし〕

消費生活相談コーナー

介護ベットのすき間が危ない！

【問題事例】
介護ベット用手すり（サイドレールなど）による死亡・重大事故が発生しています。
死亡事故の多くは、利用者の首がサイドレールのすき間に挟み込まれたことによるものです。

【対応策】
○クッション材や毛布などですき間を埋める。
○サイドレール等の全体をカバーや毛布で覆う。
○危険な状態になっていないか、定期的に目視確認を行う。

危険な部分があるかどうかを確認して、正しい使い方によって未然に事故を防ぎましょう。

問市消費生活センター（☎70－1322）

生活保護Q&A

問社会福祉課生活支援係（内線147）

私たちは、病気やケガで働けなくなったり、離別や死別で収入がなくなったり、年をとり収入が少なくなったりなど、いろいろな事情で生活費や医療費の支払いに困ることがあります。

このようなときに、自分たちの能力や資産などを活用し、精一杯の努力をしても、なお生活ができない場合に、国が一定の基準に従って最低生活に不足する分についてお金を支給したり、医療や介護を受けられるようにするとともに、１日も早く、自分の力で生活していけるように手助けをするのが生活保護制度です。

保護の種類とは？

生活保護には次の８種類の扶助があり、国が定めている基準によって支給されます。

扶助の種類	支給する費用
生活扶助	食べるもの・着るもの・水道・電気・ガスなど日常のくらしのための費用
住宅扶助	家賃・地代や住宅の補修などの費用
教育扶助	小学校・中学校の義務教育にかかる学用品・教材費・給食費・学級費などの費用
医療扶助	病気やケガの治療のため、医者にかかる費用
介護扶助	介護サービスを受けるための費用
出産扶助	お産をするための費用
生業扶助	仕事につくための費用、技能や技術を身につけるための費用、高等学校に就学するための費用
葬祭扶助	火葬・納骨などのための費用

家を持っていますが、生活保護は受けられますか？

家などの資産をお持ちの場合は、基本的に売却してもらうことになります。売ることが難しい場合、一時的に生活保護を開始し、売却できたときに得たお金から、支給した保護費を返還してもらう場合もあります。

息子が働かないため、息子だけ生活保護を受けることができますか？

生活保護は基本的に世帯を単位として認定します。家庭内の人物一人のみ生活保護を受けることはできません。

生活保護を受けている人は自動車を運転できますか？

生活保護受給中の自動車の運転については、原則として認められません。

医療費だけでも生活保護を受けることができますか？

医療費だけでなく生活費も含めて、生活保護が必要かどうか判定します。

離職により住居を失っている方等へ

住宅手当を支給します

◇**支給対象者**

○平成19年10月1日以降に離職した方

○離職前に、主として世帯の生計を維持していた方

○住宅を失った方、または賃貸住宅に居住し住宅を失うおそれのある方

○申請者および生計を同じくする同居の親族の月収の合計が次の金額であること

▽**単身世帯**　8万4千円に家賃（3万5400円以内）を加算した額未満

▽**2人世帯**　17万2千円以内

▽**3人以上世帯**　17万2千円に家賃（4万6千円以内）を加算した額未満

＊その他にも要件があります。

◇**支給額**

○**単身世帯**　3万5400円以内

○**複数世帯**　4万6千円以内

◇**支給期間**　最長6カ月間（支給中は、常用就職に向けた就職活動を行っていただきます）

＊申請方法等詳しくはお問い合わせください。

申問社会福祉課生活支援係（内線147）

すいふ恵海の森づくり

11月10日、上高倉町持方地区において、すいふ恵海の森づくりが行われました。この事業は、平成15年度から始められ、河川上流域に広葉樹を植樹することで、海の魚介類の増殖と漁場環境を保全。また、森林の重要性について認識を深める機会ともなっています。

約100人の参加者は、ヤマザクラ・モミジ・ブナ等の広葉樹約3千本の植樹作業を行い、森の再生や整備活動を行いました。また、作業後は地域住民との交流を図り親睦を深めました。

森の再生に尽力するボランティア

大学と地域が連携してまちづくり

11月24日～25日、茨城大学の学生5人が里川町を訪れ、「里川カボチャ」の加工品・商品開発に向けて、地域住民を講師に迎え議論を交わしました。大学での「地域連携カリキュラム」開発の一環として行われ、単位化を伴う専門科目「地域づくりプロジェクト実習Ⅰ」の第1回目の地域活動として実施されたものです。

里川カボチャ活用法の案を発表する茨大生

東大生がまちづくり提案

東京大学デザインサークル「IDUT」による、「IDUT VISION TOUR IN 常陸太田の報告会」が、10月28日、総合福祉会館で行われました。今年の6月に上記ツアーを行い鯨ケ丘周辺を調査した学生たち。若者ならではの視点で、鯨ケ丘の活性化策が提案されました。

南中・里美中が創立50周年

9月17日、南中創立50周年記念式典が開かれました。式典では、功労者表彰、南中の歩みのスライド上映などを行い、50年の歴史を振り返りました。その後、生徒と保護者でおにぎりづくりを楽しみ、お母さんたちが作った豚汁と一緒に昼食。午後からはバルセロナオリンピック水泳金メダリストの岩崎恭子さんを迎えて講演会を行いました。

上手に握れたかな（南中）

10月27日、里美中で創立50周年記念事業のひとつとして里翔祭が行われました。常陸太田大使でもある元キリンビールホールディングス会長荒蒔康一郎氏を講師に「世界にはばたけ里美の子」と題したトークセッションで交流を深めました。里美中生と荒蒔氏の間にさまざまな質問が交わされ、荒蒔氏からは「言われたことだけをやるのではなく、自分で考える習慣をつけることが大事」と生徒たちに伝えられました。

荒蒔さんといっしょに（里美中）

わいわい親子フェスティバル

11月23日、パルティホールで第2回わいわい親子フェスティバル（誉田養徳園主催）が、子どもの虐待防止運動の一環として開催されました。子どもたちの笑顔あふれるまちをつくろうと「つなごうオレンジの絆」を合言葉に、赤ちゃんのハイハイ大会のほか、ステージイベントではピアノ演奏やダンス・演劇が行われ、訪れたお客さんを楽しませました。

ゴールまでいけるかな

フェスティバルを支えた学生ボランティアの皆さん

西金砂登山マラソン

11月18日、第13回西金砂登山マラソンが金砂地区で開催されました。出場者は年々増え、今年のエントリーは983人。西金砂山登山の14㎞の部と、西金砂神社一の鳥居付近折り返しの5㎞の部に分かれ、ランナーの皆さんは紅葉で美しい秋の金砂路を駆け抜けました。レースを終えた出場者は、金砂の湯に入り疲れを癒し、常陸秋そばの食事サービスに舌鼓を打っていました。

高低差約300mの14㎞コースへ挑む

5㎞のスピードレースへ

参加賞を配る北中生

子育て支援グループがイベント

10月31日、パルティホールでピアニシモクラブが中心となり、子育て中のお母さんや子どもたちを楽しませようと、テレビでおなじみのくぼたまさとさんを招きイベントを行いました。

集まった子どもたちは、ビニール袋で作った猫の風船や新聞紙のボーリングで大盛り上がり。子どもたちの喜ぶ顔が見たいと、いろいろ知恵を絞りがんばっていた協力団体の方たちも、子どもたちの笑顔で癒されました。ハロウィンの仮装で集まったお子さんたちにはプレゼントがありましたよ。

みんなかわいい魔女や妖精に仮装

手作り撮影ボードの前でハイポーズ

かなさ笑楽校で豆腐づくり

11月7日、子育て調査隊ひこうき雲が「かなさ笑楽校」で青大豆豆腐づくりに挑戦しました。かなさ笑楽校は、旧金砂小学校を改修し、豊かな自然体験や生活体験ができる体験型宿泊施設で、さまざまな体験ができます。青大豆豆腐づくりは体験プログラムのひとつで青大豆200グラムを使用。木綿豆腐1丁とざる豆腐1丁のほかに、おからのお土産と昼食にもりそばも付くなどのお得なコースです。地元のおかあさんたちとふれあいながら、子育て中の親子も楽しく豆腐を作りました。

早くお豆腐できないかなぁ

地元のおかあさんが熱心に指導

行灯の赤レンガと銀杏まつり

11月10日～11日、第9回行灯の赤レンガと銀杏まつり（主催：河内の文化遺産を守る会）が旧町屋変電所周辺で開催されました。

今年は東日本大震災の影響で、旧町屋変電所の内部が使用できず、河内小体育館なども使用して行われ、根本愛子さんのひょうたんランプも200個あまり展示されました。緻密で幻想的な灯りは訪れたお客さんを魅了。また、町屋を舞台とした映画「走れ」なども上映されました。

ひょうたんランプを見に大勢の方が来場した

今年の行灯の文字は「光」と「友」

ボランティアがんばってます！

第9回

金砂郷おむすびの会

読み聞かせで本に親しみを

金砂郷おむすびの会は、金砂郷町中央公民館の読み聞かせ講座がきっかけとなり、平成10年に自主サークルとなりました。現在20人のメンバーで毎週木曜日を中心に活動中です。

主な活動は、金砂郷地区の小学校や幼稚園・保育園で毎月読み聞かせを行っています。その他、図書館や市社会福祉協議会、学校などのイベントで大型紙芝居や人形劇、カーテンシアターなども行い、現在では約35作品以上制作し公演をしています。

「メンバー一人ひとりが無理せず力を出し合い、本との出会いを育み、楽しい活動をしていきたい」という思いを大切にし、毎週練習と実践学習に励んでいます。

最近では、地元の昔話を紙芝居にして、子どもたちへの「民話の伝承」にも力を入れています。

今後は、老人ホームなど、大人にも楽しんでもらえるように活動の幅を広げていきたいと思っています。

金砂郷おむすびの会の皆さん

★「広報ひたちおおた」では、ボランティアに取り組んでいる方や団体を応援し、毎月ご紹介していきます！
問情報政策課広報広聴係（内線303・304）

園児たちギャラリー

今月は「久米幼稚園」で～す（^0^）/

おいもほりの思い出

年長さん（さくら組）

こーんなに大きなさつまいもを掘ったよ。土の中のさつまいもと綱引きしてるみたいに、力いっぱい引っ張ったんだよ。甘くてとってもおいしかったなぁ。

ひたちおおたで楽しく子育て♪

子育て応援広場

『子育て上手常陸太田』

市の魅力や子育て支援策をまとめた冊子「子育て上手常陸太田」を発行しました。子育てに関する様々な支援策をコンパクトに紹介しています。見かけたらぜひ手にとってご覧ください！

ウェブでも

こそだてじょうず　ひたちおおた　検索

問企画課（内線 314）

子育て上手常陸太田案内キャラクター「じょうづるさん」
今後、ポスター・パンフレット・ウェブサイトなどに登場しますので、みなさまよろしくお願いします。

『ウェルカム赤ちゃん教室』

赤ちゃんの元気な誕生とお母さんの健康のため、妊婦さんとその家族を対象に開催しています。パパの妊婦体験もあります。ぜひ参加してみませんか？（予約制）

◇期　日　年間を通して開催（4回で1コース）。詳細は「ひたちおおたお知らせ版」の健康ひろばページでお知らせしています。

◇ところ　総合保健センター

◇内　容　妊娠・出産・育児に関する講話、栄養指導、パパの妊婦体験、沐浴・おむつ交換等の実習など

◇参加料　無料

問健康づくり推進課（☎ 73-1212）

新婚家庭も応援します

新婚家庭の方が市内の民間賃貸住宅に入居した際、月2万円の助成が受けられます（最長3年）。詳しい要件等はお問い合わせください。

◇申請件数　上昇中→

年度	件数	
H 22	35	
H 23	32	
H 24	11月分	11月末現在
	9	56
合計	123	

問企画課（内線 314）

表紙によせて　11月23日に行われた、第2回わいわい親子フェスティバル（P21参照）。ステージで踊る茨城女子短期大学ダンスサークルの皆さんに子どもたちも大喜び。夢中で見ているうちにどんどん近づいて…。さあ、いっしょに踊りましょう！

発行　常陸太田市／編集　情報政策課　〒313-8611 常陸太田市金井町3690　☎72-3111（内線 303・304）　Fax72-3002
＊広報ひたちおおたは市のホームページでもご覧になれます　URL http://www.city.hitachiota.ibaraki.jp/

この広報紙は再生紙を使用しています